

女性研究者対象助成金等一覧

08.04.17

	分野	プログラム	機関名	制度の概要	研究費(1件当り)及び研究期間	申請書受付期間	備考
1	生命科学・物質科学	<a href="#">第3回「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」</a>	日本ロレアル社	生命科学・物質科学の分野で、博士課程(後期課程)または、博士後期課程に進学予定の40歳未満の女性で、交付後1年間、国内で教育・研究に従事できる方	生命科学・物質科学からそれぞれ2名、計4名に賞状と奨学金100万円を贈呈	2009年11月16日(月)から2010年2月28日(日)まで(締切日の消印有効)	提出後(写)1部を、部局等の事務担当者を経て、学術室学術企画グループへ提出して下さい。また、採択された際も、採択決定通知の写しを学術企画グループへ提出して下さい。
2	全般	<a href="#">第1回「昭和女子大学女性文化研究賞(板東眞理子基金)」</a>	昭和女子大学	若手の研究者・大学院生で昭和女子大学関係者(卒業生を含む)。年齢・性別・国籍を問いません。男女共同参画社会形成の推進、あるいは女性文化研究の発展に寄与する研究。 当該年の1月1日～12月31日の1年間に出版され、日本語で著された単行本・論文(博士論文を含む)を対象にします。	1点(副賞10万円)	・2009年12月1日～2010年1月31日	
3	自然科学	<a href="#">公益信託林女性自然科学者研究助成基金 平成22年研究助成候補者</a>	公益信託林女性自然科学者研究助成金運営委員会	自然科学の基礎的分野の研究に従事している女性研究者に対して、研究支援のために助成を行う	15件程度総額 約 2,000 万円(1件300万円を限度とする。)	平成22年3月31日(水曜日)[締切日を過ぎた申請は審査の対象にしない。]	
4	自然科学	<a href="#">公益信託林女性自然科学者研究助成基金 平成22年研究奨励「林フェロー」助成候補者</a>	公益信託林女性自然科学者研究助成金運営委員会	優れた女性研究者に、研究生生活の初期において自由な発想に基づき主体的に研究に専念する機会を与えることの重要性に鑑み、大学院博士課程在学者・それと同等と認められる研究者を「林フェロー」に採用し、研究奨励金の助成を行う。	2年以内(平成22年4月以降)年額 100万円(3ヶ月毎に25万円を支給。) 5名程度(新規)	平成22年3月31日(水曜日)[締切日を過ぎた申請は審査の対象としない。]	
5	自然科学	<a href="#">公益信託林女性自然科学者研究助成基金 平成22年国際研究交流助成候補者</a>	公益信託林女性自然科学者研究助成金運営委員会	海外で開催される国際研究集会に参加して研究成果の発表を行うため、あるいは海外の研究者と共同研究をすることにより研究の国際的進展を図るため、海外に渡航する女性研究者(国籍を問わない)の渡航費用の助成を行う。(原則としてわが国から海外への渡航とする。)	航空運賃及び滞在費(国際研究集会発表のみ)について、実費を助成して決定する。 年間12件程度総額 約 200万円	第1回:平成22年3月31日(平成22年6月～9月に渡航希望)、第2回:7月31日(平成22年10月～平成23年1月に渡航希望)、第3回:平成22年11月30日(平成23年2月～5月に渡航希望)	
6	自然科学	<a href="#">公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金 平成20年度研究助成「山村フェロー」助成</a>	公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金運営委員会	優れた女性研究者に、研究生生活の初期において自由な発想に基づき主体的に研究に専念する機会を与えることの重要性に鑑み、博士の学位を有する研究者を「山村フェロー」に採用し、研究助成金の給付を行う。	2年以内(平成22年4月以降)年額 200万円(3ヶ月毎に50万円を支給。) 2名程度(新規)	平成22年3月31日(水曜日)[締切日を過ぎた申請は審査の対象としない。]	
7	自然科学	<a href="#">第3回(2008年度)内藤記念女性研究者研究助成</a>	内藤記念科学振興財団	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を上げることがを支援する目的で、研究に必要な経費を補助するものである。	300万円/年の3年間。 ただし、3年目については2年間の研究結果を評価して継続の可否を決定する。 2年間の研究成果については3年目の9月末日までに報告書を送付する。	2009年6月1日(月)(財団必着)	
8	自然科学分野(物理学、化学および関連分野)	<a href="#">ユネスコ・ロレアル女性科学者賞</a>	ユネスコ・ロレアル	科学の発展に多大な貢献のあった女性科学者の業績を称え、その研究活動を広く世界に知らしめ、女性科学者の地位を高めること	100,000米ドル	平成21年6月15日(月曜日)	

女性研究者対象助成金等一覧

08.04.17

	分野	プログラム	機関名	制度の概要	研究費(1件当り)及び研究期間	申請書受付期間	備考
9	自然科学	<a href="#">第15回日本女性科学者の会奨励賞</a>	日本女性科学者の会	理系分野で研究業績をあげ、その将来性を期待できる者であり、かつ本会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会会員(応募時入会可)。特に年齢、国籍、性別は問いませんが、管理職(教授、部長等)にある方はご遠慮ください。	賞状および奨励金20万円(年1-3件)。本会総会(例年6月)において贈呈。	・応募期間:2009年11月2日(月)~11月16日(月) ・応募締め切りは2009年11月16日(月) (賞連絡事務局宛必着。応募書類は郵送願います)	
10	自然科学	<a href="#">2009年度 女性科学者に明るい未来をの会 猿橋賞</a>	女性科学者に明るい未来をの会	本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めている女性科学者(ただし、下記の推薦締切日で50才未満)に贈呈します。	本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)を添えます。	2009年11月30日(必着)	
11	自然科学	<a href="#">第12回 大学女性協会守田科学研究奨励賞</a>	大学女性協会	自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満(応募締切日現在)の女性科学者を対象とします。	年 2件 以内 賞状および副賞50万円を贈呈します。	2009年11月30日(月)(必着)	
12	自然科学全般	<a href="#">資生堂 女性研究者 サイエンスグラント</a>	資生堂	優秀な女性研究者の研究活動を支援することにより、指導的女性研究者の育成に貢献します	1件当たり100万円 最大10件 期間:2010年6月~2011年5月	2009年11月2日(必着)	
13	生命科学	<a href="#">ユネスコ・ロレアル生命科学分野の若手女性研究者のためのフェロースhip</a>	ユネスコ・ロレアル	世界の若手女性研究者による生命科学分野の研究促進のため、ユネスコとロレアルが15名の女性に対して、フェロースhipを提供する	上限20,000米ドル(備品購入、出版費用、会議出張などへの出費は認められない。)フェロースhip授賞式出席のためのバリエまでの渡航費及びバリエでの滞在費	2009年6月1日(月曜日)(必着)	
14	人文・社会科学及び自然科学の全分野	<a href="#">特別研究員 RPD</a>	日本学術振興会	学術研究分野における男女共同参画を推進する観点も踏まえ、優れた若手研究者が出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰する準備を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する特別研究員-RPDを平成18年度に創設した。	約40名 月額364,000円(ただし、博士の学位を取得していない者は、月額200,000円)、科学研究費補助金(特別研究員奨励費)の応募資格が与えられ、本会科学研究費委員会の審査を経て毎年度150万円以内の研究費が交付される。ただし、平成23年1月1日に採用を開始する者の研究費の支給は、平成23年度分からとなる。	平成21年5月13日(水)~15日(金)(必着)	
15	理系全般	<a href="#">出産・育児による研究中断者への復帰支援奨学金制度</a>	社団法人味の素奨学会	子育て中の優れた若手研究者の円滑な研究現場復帰支援を通じて、学術研究分野における男女共同参画推進の一助となるべく、出産・育児による研究中断後に研究現場に復帰した、あるいは復帰しようとする研究生を対象とした研究奨学金制度	奨学金の額と給与期間 (1) 給与する奨学金の額 月額10万円 (2) 給与期間 原則として1年間(4月から翌年の3月まで)	平成20年11月~平成21年1月19日(月)	
16	医学	<a href="#">日本女医会学術研究助成</a>	日本女医会	日本女医会員(12月25日現在入会継続3年以上経過)で個人又はグループ(但し、グループ研究は会員が研究推進の中心的役割をになうものであること)	30~50万円(3件) 助成期間を原則1年とする。同一人が重ねて申請する場合は3年以上の間隔をおく	21年12月25日必着	
17	人文・社会科学	<a href="#">未来を築く子育てプロジェクト</a>	住友生命保険相互会社	育児のため研究の継続が困難となっている女性研究者および、育児を行いながら研究を続けている女性研究者が、研究環境や生活環境を維持・継続するための助成金を支給します。	10名程度 助成金として1年間に100万円(上限)を2年間まで支給する。支給期間は2010年4月から2012年3月までの2年間の予定。	2009年9月30日必着	

女性研究者対象助成金等一覧

08.04.17

	分野	プログラム	機関名	制度の概要	研究費(1件当り)及び研究期間	申請書受付期間	備考
18	全般	<a href="#">JAUW international Fellowships</a>	Japanese Association of University Women	Japanese Association of University Women takes pleasure in announcing its 2009 International Fellowships for women who are carrying out or would like to carry out independent research or advanced study at the post-graduate level in Japan.	¥500,000 to ¥1,000,000 per grantee. The amount granted will vary depending on duration of stay in Japan and the nature of the work. One-third of the amount will be given to the grantee upon arrival in Japan.	April 20, 2009 – Postmark Deadline	
19	全般	<a href="#">女性技術者の社会貢献に贈るJWEF都河</a>	日本女性技術者フォーラム	社会貢献度が大きいと認められている実績の持ち主、例えば、女性の就職継続するための社内インフラや風土改革に寄与した方 女子学生、女性若手技術者が目指す良きロールモデルになった方	正賞 表彰盾 副賞 10万円 なお、JWEFの総会にて表彰式及び受賞者による講演会を開催します(2009年6月予定)。	2009年4月30日(当日消印有効)	
20	全般	<a href="#">ソロプチミスト ルビー賞:女性を助ける女性のために</a>	国際ソロプチミスト	職業や生活を通して、地域社会で女性と女兒の生活を向上させている女性。女性と女兒のニーズを見つけ出し、それに焦点を当てることにより、女性と女兒の生活を向上させることに貢献した女性。 ただし、活動の大部分が過去2年以内に行われたものであること。	1位 30万円1名 2位 20万円5名	締切日2009年12月25日(金) 必着	
21	全般	<a href="#">■女性に機会を与える賞(WOA) ■</a> <a href="#">日本西リジョン女性に機会を与える賞</a>	国際ソロプチミスト	有利な就職を目指し、教育と技術の向上に励む女性を支援するもの。 家族を扶養する責任を負いながら、よい職業に就くために現在職業訓練課程あるいは大学の学士課程に在学中、もしくは入学許可を得ている女性。 ただし、すでに学士号を取得している場合は応募できません。	●日本西リジョン賞 1位 20万円1名 2位 20万円1名 3位 20万円7名 ●連盟プログラム 1位 \$5000 1名 2位 \$3000 3名	2008年12月末日	